

令和７年度　城山中央小学校経営方針

１　教育目標《基本目標》

主体的な学び，豊かなまごころ，健やかな体を持ち，地域とつながり

よりよい社会と未来の創り手となってたくましく生きる児童を育成する。

２　教育目標《具体目標》

進んで勉強する子(知） 思いやりのある子・喜んで働く子（徳） 健康で明るい子（体）

～スローガン～

かしこく　なかよく　たくましく　まごころあふれる　城央小

３　学校経営の理念

（１）未来を担う児童が互いに楽しく学び，自己有用感や帰属意識等の居がいを感じる学校。

（２）教職員が児童とふれあい，教え育てる喜びを感じる学校。

（３）保護者や地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校。

４　学校経営方針

　（１）本校の歴史と伝統を踏まえ，まごころ教育を基底とする校風を継承し，その発展に努めつつ，将来，予測できない時代にも主体的な感性を働かせて，他者と協働しながらより豊かな社会を作り上げることができる児童を育成する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　 （児童）

（２）一体となって課題解決に向かう職員集団づくりに努め，チームとしての学校の力を高めていく。同時に，校務の適正化を図るとともに働きがいと豊かな生活の調和を意識しながら職務を遂行できるよう働き方改革を推進する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（教職員）

（３）社会に開かれた教育課程を具現化するために，地域や学校園の教育力を生かした教育活動を充

実させる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地域・学校園）

５　今年度研究テーマ

互いに認め合い，主体的に学ぶ児童の育成

～書く活動を通して表現し，生き生きと学び合える指導の工夫～

６　具体的な努力点

２　学習指導

・自分の考えをもち，書く活動を通して自己表現し，主体的に学び合える児童の育成

・宇都宮モデルを取り入れた授業の展開

・一人一台端末を活用した学習の推進

・基礎基本を定着させる指導改善，評価の工夫

・学び合いの場を工夫した表現活動の充実

・全職員一丸となっての学校経営

１　学校経営

・教職員の資質及び授業力の向上

・地域の教育力を生かした教育活動の推進

・一人一人が居がいを感じられる学級経営

・業務の効率化による働き方改革の推進

・風通しの良い学校経営

・経営方針や教育活動等の情報の発信

４　健康・体力・安全

・養護教諭と連携した健康教育の推進

・栄養教諭と連携した食に関する指導の充実

・教科体育指導の工夫による体力，技能の向上

・元気っ子体力チェック,ミニマムを活用した自己目標の設定による主体性の向上

・安全点検の確実な実施と情報の共有早期対応

３　心の教育・児童指導

・自己有用感を高める学級経営の充実

・児童が互いに認め励ます場の設定

・挨拶運動の推進と日常的な挨拶の励行

・まごころ教育の充実

・福祉施設,地域高齢者,ボランティアとの交流

・いじめ，不登校児童等への柔軟な対応

まごころ教育…昭和５０年代から取組んでいる児童の主体性と豊かな心を育むことを目的とした心の教育

まごころ⇒正しいことを行う心（主体性）・相手を思いやるやさしい心（豊かな心）